【4-6 評価シート 観察研究】

診療ガイドライン	CQ7シスプラチン投与時のshort hydration は推奨されるか？
対象	CDDP使用化学療法施行患者
介入	CDDP short hydration 療法
対照	CDDP non-short hydration療法

*バイアスリスク、非直接性
　各ドメインの評価は"高(-2)"、"中/疑い(-1)"、"低(0)"の3段階
　まとめは"高(-2)"、"中(-1)"、"低(0)"の3段階でエビデンス総体に反映させる
** 上昇要因
　各項目の評価は"高(+2)"、"中(+1)"、"低(0)"の3段階
　まとめは"高(+2)"、"中(+1)"、"低(0)"の3段階でエビデンス総体に反映させる
各アウトカムごとに別紙にまとめる

アウトカム	腎機能障害

個別研究		バイアスリスク*							上昇要因**				非直接性*					リスク人数(アウトカム率)								
		選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	症例現象バイアス	その他																				
研究コード	研究デザイン	背景因子の差	ケアの差	不適切なアウトカム測定	不完全なフォローアップ	不十分な交絡の調整	その他のバイアス	まとめ	量反応関係	効果減弱交絡	効果の大きさ	まとめ	対象	介入	対照	アウトカム	まとめ	対照群分母	対照群分子	(%)	介入群分母	介入群分子	(%)	効果指標(種類)	効果指標(値)	信頼区間
2012 EJCC 2012 (21)	その他												-2	-1												
Eur J Cancer Clin Oncol 1985(21)4	症例対照研究	-2	-1	0	-1			-1					-2	-1		0	-1	NA	NA	NA	281	10	3.5			
Hotta et al. JJCO 2013;43(11)	コホート研究	-2	-1	0	0			-1					-2	-1		0	-1	NA	NA	NA	46	2	4			
CANCER January 1 1980	症例集積	-2	-1	0	-1			-1					-2	-1		0	-1	NA	NA	NA	158	8	5.13			

コメント(該当するセルに記入)

2012 EJCC 2012 (21)	論文の集積												詳細は明記されていない	CDDP>50 mg/m²												
Eur J Cancer Clin Oncol 1985(21)4	単一群の比較(前後比較)	単一群のため大きいとみなす	疑われる	採血pointが明確									PSが記載されていない。基本外来患者	CDDP:55 mg/m²【11人は20mg/m² Day1-5】	単一群のため評価せず	Cr>1.7mg /dL						Cr>1.7mg /dL			
JJCO 2013;43(11)	prospective feasibility study	単一群のため大きいとみなす	疑われる	採決ポイントが細かく設定されている	3名が他施設へ,その他は4498日follow								PS2が含まれていない	CDDP>60 mg/m²	単一群のため評価せず	Grade 2以上						Grade 2以上			
CANCER January 1 1980	単一群の比較	単一群のため大きいとみなす	疑われる	採血pointが明確									PSが記載されていない。基本外来患者	CDDP:50 mg/m²[7人は30mg/m² Day1,3,5]	単一群のため評価せず	Cr>1.5mg /dL						Cr>1.5mg /dL			